

**目的**

- ・ 新BBフィルタによる迷光対策効果の確認
- ・ 新BBフィルタの波長域、カットオフレベル、2次光問題、R500分光効率の確認
- ・ 新NBフィルタの波長域、波長シフト、撮像効率の確認

**手段**

- ・ 待機フランジ時、カセフランジ時 (CAL 使用) 夜間観測時

**項目**

## 待機フランジ

優先	目的	フィルタ	グリズム	マスク	コメント
1	迷光テスト	JH	なし	スリットなし マスク	スリットなしマスクがなければひとまずピンホールマスクでやって、以前の画像と比較するのもよい。
1			zJ500		
1			HK500		
1		HK	なし		
1			HK500		

## カセフランジ

優先	目的	フィルタ	グリズム	マスク	コメント
1	BB カットオフ 2次光問題	JH	zJ500	LS と MOS 1	CAL (アルゴン) 波長較正
1					CAL (ハロゲン) 波長域、効率
1		HK	HK500		CAL (アルゴン) 波長較正
1					CAL (ハロゲン) 波長域、効率
2	NB 性能	J	zJ500	MOS	CAL (アルゴン) 波長較正
2		NB119	zJ500		CAL (ハロゲン) 波長域、効率
1	ドームフラット	JH	zJ500	LS	夜間データのためのフラット
1			HK500		
1		HK	HK500		
2		なし	zJ500		
2		OC1.3	HK500		

## 観測 (夜間)

優先	目的	フィルタ	グリズム	マスク	コメント
1	BB 効率	JH	zJ500	LS	標準星@2"スリット
1			HK500		
1		HK	HK500		
2		なし	zJ500		
2		OC1.3	HK00		
1	BB 波長較正	JH	zJ500	LS Fine 2	スカイを長時間 (300 ~ 600s)
1		HK	HK500		
3	NB 性能	NB119	なし	なし	長時間露出 (~ 1時間)

1 波長域の外に感度があるかどうかをみるため、MOS マスクで左右に寄っているスリットのスペクトルの裾野を調べる (ロングスリットでは波長域が切れてしまう場合)。

2 できれば、新しいロングスリットマスクの各スリットに相当する位置に 0.3"スリットをあけたファインロングスリットを用意する。

新フィルタの透過率曲線

